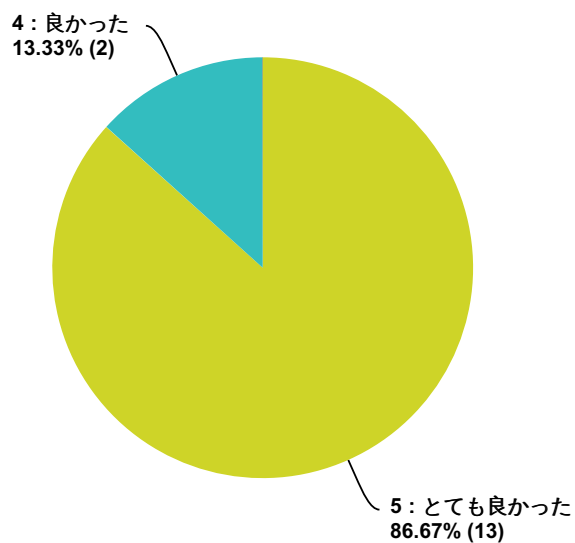


2016マヒドン(派遣)研修成果アンケート結果

Q1 プログラム全体を下記の選択肢をつかって評価してください。



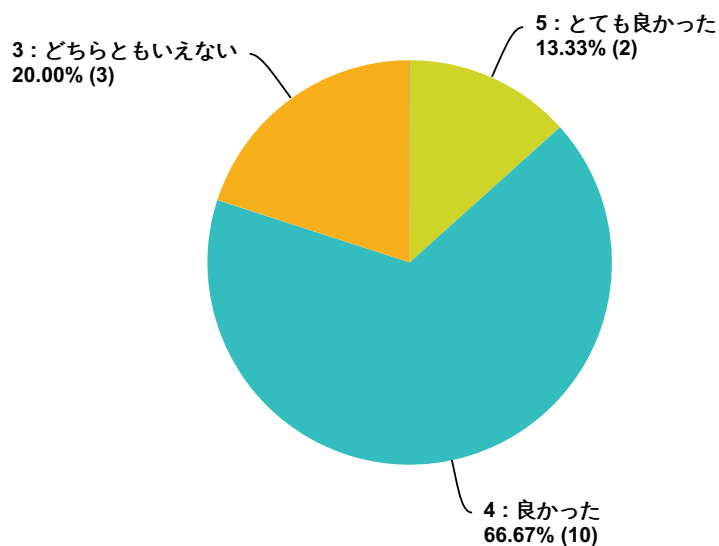
回答の選択肢	回答数
5: とても良かった	13
4: 良かった	2
3: どちらともいえない	0
2: 良くなかった	0
1: 全く良くなかった	0
合計	15

Q2 左記を選択した理由をお聞かせください。
(プログラム全体についての感想)

#	回答
1	このプログラムはタイにいる期間は2週間と短いですが、それ以前にタイの学生と関わることができる。そのためタイの学生と深く関わることができ、直接的にタイの文化を体験することができた。海外に行くという体験のみではなく、海外の友達と深く関わることができることがとても魅力的だった。
2	約一か月タイの学生と一緒に過ごすことが出来てとても充実していました。文字好きの私にとってずっと街中でタイ文字を見ることが出来たのはとても興奮しました。タイ語を勉強することによってタイ語でタイの学生ともしっかり話せるようになりたいと思いました。今後もタイ語を学び続け再びタイを訪れたいと思いました。
3	タイをただ観光するだけでなく、タイ人学生との濃密な交流プログラムが用意されており、ただ旅行するだけではわからないような タイ人の価値観まで知ることができた から。
4	まず、マヒドン生が日本に来て、そのあと九大生がタイに行くという流れがよかった。まず日本でマヒドン生との交流をし、交友関係を築くことができ、すぐ後にお世話してもらう形であったからこそこのプログラムが成り立ったと思う。また、このプログラムでは言語を学びながら、直接的な交友を通して、より実践的な会話を身につけられた。こういった経験はただの観光では不可能であるため、とても貴重な経験をでき、また、この プログラムを終えても交友関係を続けていけ、プログラム期間だけでない学びが得られた から。
5	2週間の滞在でマヒドン生に大変お世話になりながら楽しく過ごせた。九大生も1~4年と様々な学年が一緒に参加することで、 異なる学年・学部と交流する数少ない機会を得られた ため、とても良かった。それぞれの個性がバラバラで大変なこともあったが、それも経験の一つだと思える。私たちの滞在期間はほとんど朝から夜までマヒドン生がお世話をしてくれた。私たちはあまりお世話できていなかったのにも関わらず、どこに行くにも何をすることもずっと行動を共にしてくれて、とても感謝している。2週間の滞在はあっという間に過ぎてしまうほど 毎日が濃くて楽しいプログラム だった。
6	タイでの2週間は本当に充実していて、とても楽しかったです。今回が人生で初めての海外だったので、行く前は不安でしたが、マヒドン大学の学生はとても親切で、そんなのは杞憂でした。何度でも行きたいと思えるプログラムでした。
7	マヒドン大学の充実した施設に加え、現地の仲間たちの手厚い待遇、サポートが嬉しかった です。またほぼ毎日あるキャンパスツアーによってタイの文化を体感することが出来ました。
8	タイの文化を多様な面から理解することが出来ました。クッキングクラス、ダンス、ムエタイなどプログラムが充実していたことに加え、2週間タイの学生とほぼともに過ごすことで、実際の現地での暮らしに近いものが体験できたと考えています。タイの学生のおかげでタイ滞在中は何不自由なく暮らすことが出来ました。
9	文化・慣習をただ勉強するだけではなく実際に体験することができ、さらに現地の大学の友人とも深く交流を図ることができたから。
10	マヒドン大学の学生と多くの時間をともに過ごし親密な関係になることができたから。習ったばかりでタイ語が理解できるか不安もあったが、学生同士やチューターの指示、講義を担当してくださった先生など英語や日本語が堪能で、わからないことがあればすぐにわかりやすく教えてくれた。また 2週間という短い期間の中で食の文化から仏教の歴史まで幅広く学べるプログラム になっていた。
11	Field Visitなどのプログラムが充実していたことと、予想以上にマヒドン生との交流が非常に多くて、いい経験になったから
12	日本で2週間、タイで2週間、マヒドン大生と交流でき、体も心も成長できたと思います。タイの言語や文化だけでなく、タイの人々との考え方や価値観の違いも学ぶことができました。一か月という短い期間でしたが、 非常に濃い内容 でした。参加することができて、よかったです。
13	マヒドン大学の学生との交流を通して異文化間の相互理解を深めるとともに、友情を築くことができたこと。 授業のみならず、マヒドン生からもタイ語を学ぶことができ、語学習得が進んだ こと。学んだタイ語を実地で使用する機会が与えられていたこと。非常に充実した、素晴らしいプログラムでした。
14	タイの言語と文化について十分学べたと思うから。
15	タイの言語を学ぶにあたり、タイの学生とたくさん交流できた点がとても良かった。また、主要な博物館なども訪れることができ、タイについて深く学ぶことができた。

Q3 タイ語の授業について、下記の選択肢をつかって評価してください。

回答: 15 スキップ: 0

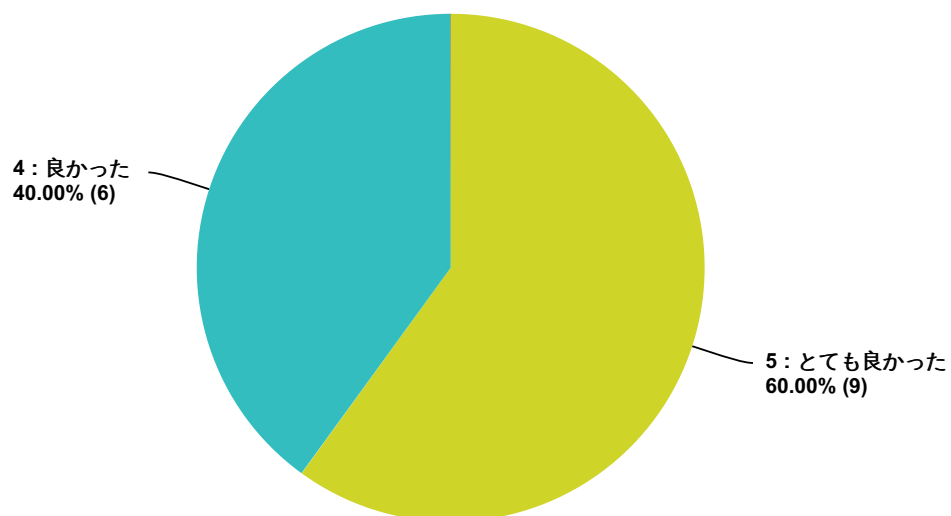


回答の選択肢	回答数
5:とても良かった	2
4:良かった	10
3:どちらともいえない	3
2:良くなかった	0
1:全く良くなかった	0
合計	15

Q4 左記を選択した理由をお聞かせください。
(タイ語の授業全体についての感想)

#	回答
1	実践的なタイ語を簡単に学ぶことができた。
2	日常会話などに使いやすい文などを教えてくれたので <u>すぐに使うことが出来とても役に立ちました</u> 。テストは少し多めで厳しかったです。あともう少し文字をやりたいかったです。
3	日本でのタイ語の授業に関しては申し分なく良かったが、タイのマヒドン大学でのタイ語講義は全く体系化されていない授業で、教員の質も悪く、概して身につかなかった。
4	タイ語を習得するにあたり、 <u>授業は楽しく受けられ、実際に使うことができるワードや文法を学べ、とてもよかったです</u> 。しかし、授業の一部分は非効率な勉強法だと感じ、その時間はあまり意味のないものだったと感じた。さらに、最終プレゼンに活かせる語彙力も身につけられなかったので、少し物足りないと感じた。
5	授業では、日常で起こりうるシチュエーションをシミュレーションしながら、実践的なタイ語を学ぶことができました。程よく先生も厳しく、数字や曜日などの基本的な単語を自然と授業の中で覚えることができました。日本での授業とタイでの授業は先生が異なったのですが、 <u>マヒドン大学での授業は少し厳しすぎてきつい</u> なという場面も多々ありました。
6	<u>日本でのウィパー先生による授業はとても良かった</u> 。前日の復習を丁寧にしてくれるし、効果的な授業だと感じた。しかし、 <u>タイでのジュブ先生による授業はあまり良くなかった</u> 。目的の見えない教え方だったり、厳しすぎる箇所があると感じた。何を言ってるのか分からなかったり、説明もよくわからなかった。
7	授業内容は発表が多かったのもそれなりに身についたのですが、全体としてしっかりタイ語を学べたので良かったと思いました。
8	日本での集中講義は非常に楽しく有意義でした。しかし、タイでの講義は、率直に言うと「楽しい」よりも「受験タイ語」を学んでいる気分でした。復習に時間をしっかりとる、全員で声を出して練習する、など改善点は多々あると感じました。(タイ語授業にどの程度のレベルを求めるかによってこの回答は変わると思います。私個人としては、ウィッパー先生の授業がとても良かっただけに、それと比較したタイでの授業に落差を感じこの評価をつけました)
9	かなり難しかった。また、 <u>毎日の授業の進めるスピードがかなり早かった</u> ので、復習する時間が欲しかった。
10	講義はわかりやすくタイ語に興味湧いた。2週間という短い留学期間の中で自己紹介から関係代名詞まで多くの文法を学んだ。しかし内容が多く濃く、あまり定着していない状態で次の単元に進んでしまったように思う。比較級や現在完了よりも自分の感情を伝えたり看板やメニューの文字を読んだり実生活に近い所のタイ語を学びたかった。
11	会話中心の授業でその日の授業終わりから、 <u>即実践して使えるので、身につくスピードが早い</u> と思った。ただ文法などをもう少し説明してもらえれば、もっと良いと思った。
12	全くタイ語を知らない状態から、ちょっとした会話なら可能な状態になることができました。日に日にマヒドン大生にタイ語で話せるようになるのを実感できて、もっと頑張ろうという気持ちになりました。マーケットなどで、自分のタイ語が通じるとうれしかったです。
13	限られた期間の学習ということで、実用的な表現に絞った授業内容はとても良かったと思います。ですが、トリップとの兼ね合いで日程が厳しく、ほとんど毎日寝不足の状態で講義を受けるのは辛かったです。
14	授業内容が少し分かりにくかったから。
15	教科書の例文は日常的に使えるものばかりで実際に話したりできたが、プレゼンテーションなどはやりにくかった。語彙集などがあるともっと良かった。

Q5 Field Visitについて、下記の選択肢を
つけて評価してください。

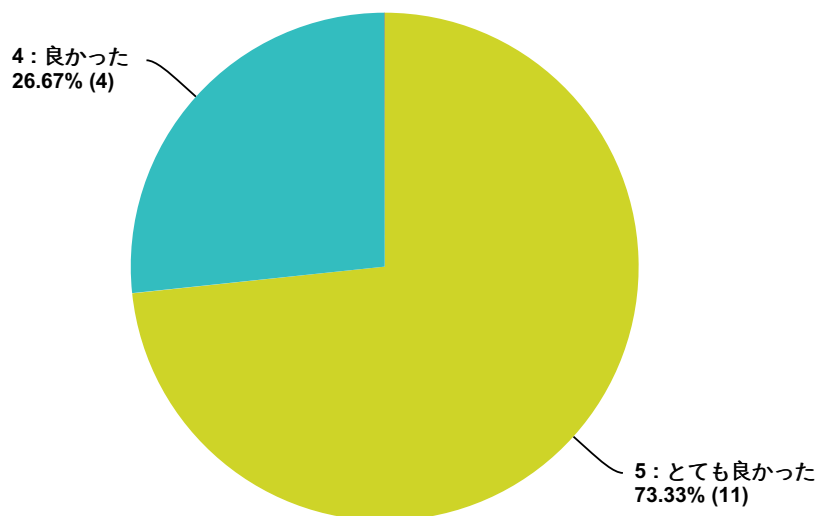


回答の選択肢	回答数
5:とても良かった	9
4:良かった	6
3:どちらともいえない	0
2:良くなかった	0
1:全く良くなかった	0
合計	15

Q6 左記を選択した理由をお聞かせください。
(Field Visit)に関して、特良かった場所、良
くかった場所など)

#	回答
1	タイの名所を大学のプログラムとして連れて行ってもらえるため、安心安全に観光地に行くことができた。また団体でまわるため、 <u>ガイドによる詳しい解説を受けることができ、深い知識を得ることができた</u> 。ただタイは日本人には慣れない気候であるため、屋外で長い時間歩き続けると暑さ等で体調を崩す日本人学生が何人か存在した。時間があれば涼しいところで休憩をとっても良いと思った。
2	気に入った場所はthe grand palaceでとても大きかったですごく感激しました。またエメラルド寺院も楽しかったです。
3	特に良かったのはバンコクナショナルミュージアムだ。もともとタイ仏教に興味があったので、タイの多くの仏像や歴史物を直に見ることができ、説明を受けることができたのはためになったと思う。
4	ガイドさんの説明など、事細かに教えてくださって、よりタイについて知ることができました。特に、ワットプラケーオやバンコクナショナル博物館では、タイの風土・人柄の根本的ともいえる上座部仏教について直に感じる事ができた。
5	どこの観光地もタイに来た！と感じさせる場所ばかりで、さらにその場その場でのガイドさんが大変親切でかなり楽しむことができました。 <u>英語でのガイドのとき、自分の英語力のなさを多々痛感することがあり、逆にそのおかげで英語をもっと勉強しようという気持ちにさせられて、かえってよかったです</u> 。
6	エメラルド寺院は壮大で感動した。 ジムトンプソンの家は思ったほどではなかった。わざわざ見に行かなくてもいいかなと思った。お土産屋がおしゃれだったけど高くて手が出なかった。 国立博物館は博物館なのにほとんど外で、荷物も預けなければならなかったのが体力的にきつかった。
7	全体としてとても充実した内容でした。とくに宮殿はまさに豪華絢爛で、目を見張る美しさでした。しかしジムトンプソン記念館はガイドがせかせかして中を充分見ることができず、質問をすると少しいやな顔をされるなど、残念なところがありました。
8	ワットプラケーオ、国立博物館、Siriraj museum、ジムトンプソンの家など多くのところを回ることが出来ました。ただ、 Siriraj museumは専門的な内容で、果たしてこのプログラムで参加する(マヒドン国王のことを踏まえても)意義はあるのかと感じました。また、 <u>都会だけでなく、農村など昔からのタイの文化を実際に体験できる場があれば良いな</u> と感じました。(滞在中ほぼ都会にいたので)
9	現在のタイという国が創り上げられていく過程がわかり非常に面白かった。また、現地の生徒と一緒に訪問することができたので、非常に良い交流となった。
10	タイの文化や歴史が多く感じる場所に行くことができとてもよかった。特によかった場は the Grand Palaceだ。日本の寺院と全く異なり想像以上の規模と装飾に感動した。
11	全体的に良かったが、ワットポーに若干行きたいとも思った。 特に良かったのはエメラルド寺院と王宮で <u>ガイドがしっかりしていて、タイの歴史や仏教について深く知ることが出来た</u> と思う。
12	特に良かった場所は、エメラルド寺院です。金色をベースとして華やかに装飾されており、日本の寺院との違いを感じました。昨年の参加者が体験した川下りがなかったのが、残念でした。
13	歴史、美術、宗教、教育など様々なテーマの名所を訪れることができたのが良かったと思います。ほとんどがガイドつきで勉強になりましたが、時間配分の関係で展示物をじっくり見て回ることができなかつたのが残念です。
14	バンコク国立博物館が特に良かった。siriraj museumはあまり興味を持ってなかった。
15	どこも興味深いものばかりでとてもよかった。特に、ジム・トンプソンの家とアナンタサマーコム殿は個人的に見どころが多く、とても楽しむことができた。

Q7 Field Visit以外の課外活（例えば料理やダンスなど）について、以下の選択肢をつかって評価してください。

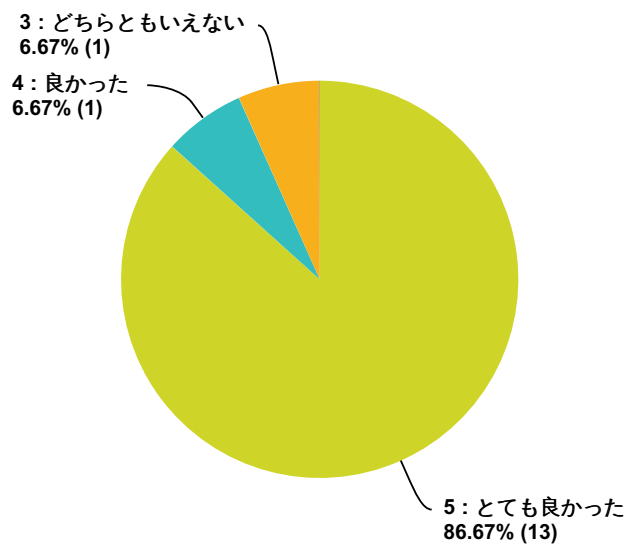


回答の選択肢	回答数
5: とても良かった	11
4: 良かった	4
3: どちらともいえない	0
2: 良くなかった	0
1: 全く良くなかった	0
合計	15

Q8 左記を選択した理由をお聞かせください。
(課外活動に関する感想)

#	回答
1	<u>旅行では体験することができないタイの文化を教わることができ、とてもよかった。</u>
2	ダンスは伝統的なものが学べたのでよかったです。料理は少し難しかったけど楽しかったです。
3	特に <u>ムエタイの講義が良かった</u> 。外国人とはコミュニケーションが取れなくとも、一緒に体を動かせば楽しめることがわかった。
4	料理は本格的にシェフさんについてもらいながら行うことができ、とても面白かったです。実際に使う鍋の重さ・調理場の暑さ・食材や調味料の色やにおいを感じることができたのも、この活動があったから知れたことだと感じた。また、ダンスやムエタイも本格的な指導があり、すこし難しいと感じたが、自分達だけではできないことに触れられるいい経験になった。
5	料理はマヒドン大学の中の施設の中でシェフ?と一緒に本格的な作ることができて、とても楽しかったし、すごくおいしかった。ただ、九州大学ではロビーのようなところで簡単に料理するだけだったので、その差が大きくて少し申し訳なくなった。ダンスやムエタイも熱心なコーチから学ぶことができてとても楽しかった。
6	料理もダンスも良かったと思う。どちらも良い経験になったし、純粋に楽しかった。マヒドン生が浴衣を着たように、(ダンスの簡易的なものではなく)タイの伝統衣装を着る課外活動があったらもっと良かったと思う。
7	どれもタイの学生・またメンバーとの絆を深める上でとても充実した内容でした。とくに <u>土日のフリーデーでは、タイの学生たちに大いに助けられ、かけがえのない時間を送ることが出来ました。</u>
8	非常に充実していました。特にクッキングクラスについては規模の大きさと本格的な感じに驚きました。
9	タイの文化を多方面から理解することができ非常に良かった。また、 <u>マヒドン大学の友人に文化に関する質問を行う機会になり、より一層深い文化の理解になった。</u>
10	現地の学生と一緒に楽しむことができたから。中でもムエタイが楽しかった。予想外に本格的に教えていただき強く思い出に残る課外活動になった。
11	Field Visitのように見るだけではなく、実際に自分で体を動かして経験したので記憶に深く残っている。料理教室が日程の序盤にあったことで、タイ料理全般の基礎知識を学べたので、その後自分でご飯を買うときなどに困ることが少なくて良かった。
12	それぞれの活動で、指導者が丁寧に指導してくれたので、楽しく活動することができました。特にタイボクシングを指導してくれる人たちがおもしろかったです。
13	タイの代表的な文化を体験するよい機会だったと思います。とくに <u>料理は、プロのシェフに手ほどきを受けながらタイ料理を作る貴重な経験ができてよかった</u> です。日本に戻ってから自分でも挑戦してみたいと思えました。
14	料理やダンス、ボクシングは本格的に教わることができたため。
15	タイの伝統的文化を実際に体験することができ、とても贅沢な時間を過ごさせていただいた。

Q9 プログラム以外でのタイの生活や寮での生活について、下記の選択肢をつかって評価してください。

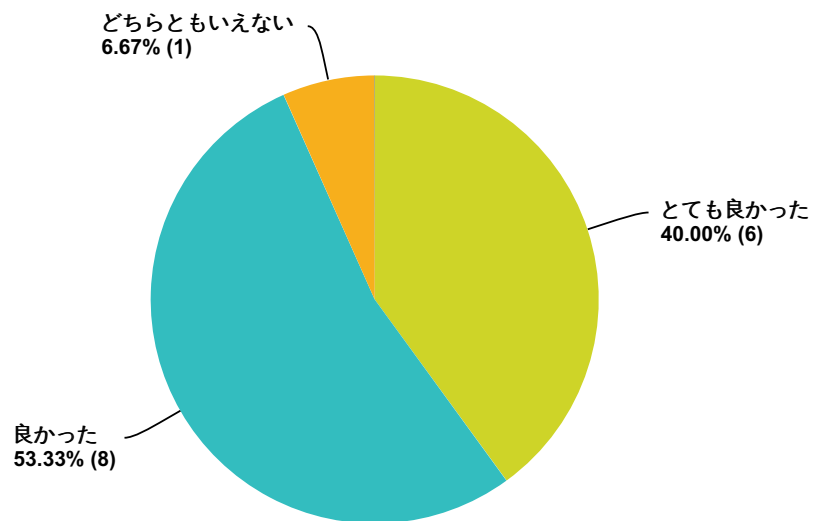


回答の選択肢	回答数
5: とても良かった	13
4: 良かった	1
3: どちらともいえない	1
2: 良くなかった	0
1: 全く良くなかった	0
合計	15

**Q10 左記を選択した理由をお聞かせください。
(プログラム外でのタイの生活や寮での生活に関する感想)**

#	回答
1	放課後、休日等、講義の時間以外はずっとタイの学生といることができ、タイの学生とより深く関わることができ、とても楽しかった。 <u>出掛ける時はタイの学生と一緒に行動してくれて、安心して出掛けさせてもらった</u> 。寮にいるときもタイの学生が遊びに来てくれて、とても楽しい時間を過ごすことができた。海外の学生とこれほど深く関わることは滅多になく、とても貴重な時間を過ごすことができた。
2	タイの学生とたくさん交流することが出来たので楽しかったです。食べ物辛いものが多かったので出来るだけ辛いもの食べませんでした。部屋は清潔だったので生活はしやすかったです。ただwifiが繋がりにくくなる時も多かったです。
3	寮の施設は清潔だったし、食事でも美味しかったので、申し分ない。
4	寮はマヒドン大学のすぐ近くにあり、またマヒドン生もすぐ近くにすんでおり、いつでも遊びに来てくれたり、お互いの集合もしやすかったため、とても便利であった。プログラム以外で、マヒドン生に屋台や市場に連れて行ってもらっていたが、日本人だけでは近くの屋台で食べたいものを注文するのもままならないと感じ、近くにすぐかけつけてくれるマヒドン生がいたことが一番よかったことだと思う。
5	寮から大学が徒歩だと少し遠いという話を行く前に聞いていたので、少し心配だったが、毎日寮から大学まで専用のバンが送迎してくれたので全く心配いらなかった。また、 <u>寮での生活についても部屋もかなりきれいで広さもちょうどよく、快適だった</u> 。タイでの生活はマヒドンの学生が十分すぎるほど熱心にお世話してくれて、一日中本当に快適だったし、楽しかった。
6	物価も安く、寮も想像よりとても清潔で快適だったのでとても良かった。プログラム外の時間はほとんどすべてマヒドン生が付いてくれて、店での注文などにおいてもほとんど何も困ることはなかった。お世話になりすぎて、こんなに楽しんで良いのかなと思うほどだった。
7	タイの学生のサポートがなによりの宝物でした。彼らは <u>プレゼンの前夜も夜遅くまで練習に付き合ってくれ、また数人のメンバーは非常に疲れていても必ず毎日ツアーについてきてくれました</u> 。ほんとうに感謝できません。
8	寮は非常に清潔でホテルに近かったです。また、タイでの生活においても何ん自由なく暮らすことが出来ました。
9	寮は非常に快適であった。また、マヒドン大学の友人も同じ寮に住んでいたりと、近くに住んでいたため、集まることができ非常に良かった。
10	寮のまわりにたべるところやコンビニエンスストアがあったため、便利だった。また学校の近辺でタイ古式マッサージやヘアークットもあり気軽に非日常的な体験をすることができたと思う。
11	休日もマヒドン生がずっとサポートしてくれたので、生活で困ることはほぼなかった。大学も寮も回線速度の速いWIFIだったので良かった。
12	マヒドン大生が様々な面で面倒をみてくれて、タイでの生活を十分に楽しむことができました。 <u>寮には、ジムやプール、レストランが完備されており、充実した生活をおくりました</u> 。余談ですが、寮の近くにおいしいかき氷屋があり、毎日行きました。
13	寮は綺麗で付属設備も充実しており、素晴らしかったです。マヒドン生が日本で滞在していた寮も庶民的で良かったのですが、いかに設備に格差があり、少々申し訳ない気持ちすら感じました。 <u>大学の学食や近所の市場など、選択肢も多く、食費まで支給されたため、食についても問題ありませんでした</u> 。なによりマヒドン生があらゆる面で手厚くサポートしてくれたため、何ん自由なく現地での生活を楽しむことができました。
14	寮での生活は快適だったが、大学外の食事は不安だった。
15	マヒドン生がいつも手助けをしてくれたので、何ん自由なく暮らせた。彼らには感謝と申し訳なさでいっぱいだ。

Q11 派遣プログラムの施時期・期間について、下記の選択肢をつかって評価してください。

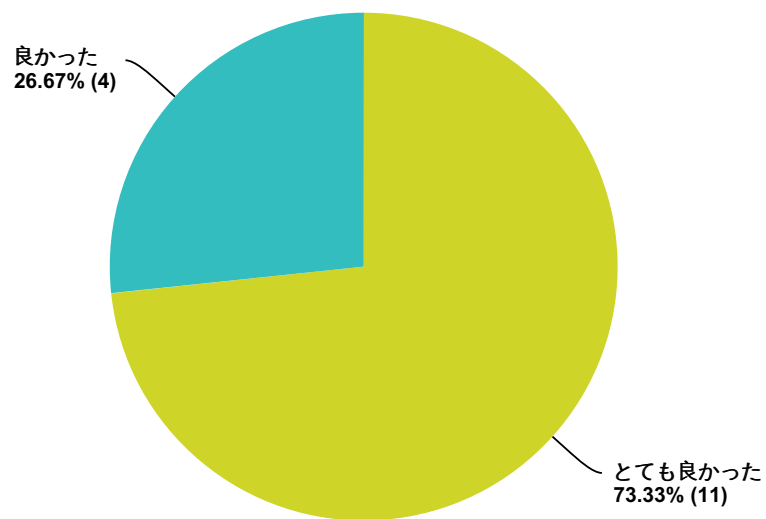


回答の選択肢	回答数
とても良かった	6
良かった	8
どちらともいえない	1
良くなかった	0
全く良くなかった	0
合計	15

Q12 左記を選択した理由をお聞かせください。
(派遣プログラムの実施時期・期間に関する感想)

#	回答
1	マヒドン大学も九州大学も夏休みの期間に実施することで、学生同士が関わるができる時間がより多くあり、より深く関わることができ良かった。
2	時期と期間はこのままでいい と思いますがもう少し自由時間がほしかったです。
3	夏休み直後から、交流プログラムがあったが、前半にまとめてくれたおかげで、後半違うプログラムにも参加することができるのでいいと思う。
4	実施時期はよかったが、 実施期間がもう少し長くあってほしかった 。スケジュールが意外とハードであり、しっかりと休む暇もなく次の日を迎えることになるのが多々あり、体調を悪くする人がマヒドン生も九大生にも少なくはなかった。そのため、スケジュールをもう少しゆるくしてもらえれば、きちんと過ごせたと思う。
5	タイの学生が九大に来てくれた時、一斉休業期間なのはどのようなものかと思った。自分たちがタイに行ったときは、タイの学生の授業が始まっていて、タイの学生の生活風景が垣間見れてよかった。ただ、最終プレゼンの日が卒業式とかぶっていて、少し申し訳なく思った。
6	2週間海外に滞在するのは初めてで最初は不安だったが、それでもあつという間に過ぎていって楽しく過ごせた。これより長いと体調的にもたない人がさらに増えると思うし、ストレスなど人間関係としても厳しいと思うので2週間の滞在はちょうど良いと思う。
7	ほんとうは2週間以上いたい、もっとタイでの生活を楽しまたいと思っていただけなのですが、 体調が一週間をすぎて思わしくなくなり 、他のメンバーもバタバタ腹痛や熱をだしていきました。 2週間、のばしても3週間がちょうど(体力的に)ベスト ではないかと思います。
8	非常にちょうどよい期間 でのプログラムでつたと感じています。
9	九大側がタイへ訪問した時期が、マヒドン側が授業が始まっていたので、大変そうだった。
10	2週間という期間はタイの文化・言語に触れるのに最適な期間だと思う。実際には留学期間中の私にとって2週間はとても短く感じたが、ぜひまた来たいと思えるような期間だった。実施時期に関して私は大学院入試と集中講義が被っており、できるだけ講義に参加しながらの受験だったためスケジュール調整が難しかった。 箱崎・伊都だけでなく芸術工学部の院試も視野に入れた実施時期になれば良い と思った。
11	留学前は2週間は長いと思っていたが、実際に行くとなんとなく終わってしまった。3週間や1カ月くらいなど少し期間が延びても良いと思う。実施時期だが、先だってマヒドン生が2週間福岡に来た際に九大側は 前期試験期間なので、チューターしづら いのは問題だと感じた。もう1週間後ろにずれていけばよいと感じた。
12	実施時期はちょうどよかったと思います。実施期間に関しては、スケジュールがつめられすぎており、体調を崩す人が少なくなかったので、もう少し期間をのばして、スケジュールをゆるくしたほうが良いと思いました。
13	前期試験の期間が終わる前にプログラムが始まったため、大変でした。また、日程が過密であるため、特にタイへ行ってからはほぼ毎日睡眠不足で気づきました。時期はもう少し後にずらして、期間を長くしても良いのではないかと感じました。ただ、費用やマヒドン大学側の予定との兼ね合いを考えると、このような日程なのも仕方ないかなと思います。
14	夏休みを利用して参加できたため。
15	タイ語の授業数や課外実習などの量からしてもちょうどよかったと思う。

Q13 集中講義を受講した上で派遣プログラムに参加したことについて、以下の選択肢をつかって評価してください。



回答の選択肢	回答数
とても良かった	11
良かった	4
どちらともいえない	0
良くなかった	0
全く良くなかった	0
合計	15

Q14 左記を選択した理由をお聞かせください。
(集中講義を受講した上で派遣プログラムに参加
したことについての感想)

#	回答
1	事前に学習することでタイに行って実践することができてとてもよかった。タイでは英語を話すことができない町の人もたくさんいるので、少しでも話すことができ役に立った。またタイの学生との話の話題にもなった。
2	あらかじめタイ語を学んでおくことでタイに着いてすぐに基本的なあいさつなどが出来るのでいいと思いました。
3	簡単な会話ができるとタイ人も喜ぶし、何より、タイに対する心的なハードルが下がるので良かったと思う。
4	少なからず、タイ語を話すことができ、 <u>最低限の会話ができていたことがプログラムをより充実したものになった</u> と感じる。しかし、マヒドン生が日本にいるときに集中講義があったため、study tripに参加できなかったのは口惜しいと感じた。
5	集中講義でタイ語を学んだことによって、少しタイに関して知識がある状態でタイに行けたので、安心感があってよかった。先生もかなり優しく、授業を受けることでタイへの期待がどんどん高まった。また、授業内でもタイの学生と交流することができ、とてもよかった。
6	マヒドン生は1年間日本語を学習した上でこのプログラムで、私たちはたった1週間勉強した上でこのプログラム参加だったが、集中講義がなかったら、さらにマヒドン生に負担をかけるところだったので、集中講義はないよりは良いと思った。また、集中講義内の料理教室などでマヒドン生と少しでも関われたのは良かったと思う。
7	タイの文化をタイ語を通じて学んだうえでタイに迎えたのは良かったと思います。
8	集中講義を受講したことで、タイ語や文化への理解をある程度して臨むことが出来ました。 <u>タイ語というほとんどの学生が未知なる言語での留学となる場合、集中講義は必須であると感じます。</u>
9	ある程度、タイ語の基礎を理解した上で、タイに行くことができたので、あちらでの授業がスムーズに行えた。
10	集中講義の予備知識がなければ、現地の講義や生活で大変苦労したと思う。集中講義のおかげで導入部分はしっかり理解することが出来ていた。しかし2週間という短い貴重な留学期間をもっと有意義なものにするために、 <u>もう少し集中講義の段階で文法に踏み込み、現地での講義の負担を減らしてほしかった。</u>
11	事前の集中講義がなければ、タイでの授業が辛かったと思う。また集中講義で習ったことをタイ初日から使えるのでそこも良いと思う。
12	集中講義なしにタイを訪れても、どうしようもなかったと思うので、集中講義があつて良かったと思います。
13	前もって集中講義を受けることで、ある程度タイ語を理解し話せる状態でタイに渡れたのは良かったと思います。しかし、一日3コマの講義を受けながらマヒドン生のチューターをこなすのはなかなかハードだったので、もう少し分散できればいいな、とも思いました。
14	タイ語をある程度学んでから現地に来て、不安が和らいだため。
15	何も言語を知らないままその国に行くことは、留学でなくてもよくないことだと思う。 <u>集中講義を受けることでタイに馴染みやすかった。</u>

Q15 日常生活や本プログラムに参加して考えたこと、改善事項や要望事項などを書いてください。

#	回答
1	私はタイの国民性について考えた。日本人はよく親切だと言われるがタイの方が親切だと思った。日本人の優しさは表面だけのものもあることに対し、タイ人は真の優しさを持っていると思った。私たちが日本で行った親切の何倍もの親切をタイの学生は私たちにくれた。 <u>タイの学生はとても純粋で一番に私たちのことを考えてくれ、行動してくれた</u> 。日本人もタイの学生くらい周りのことを考えられる人になればと思った。タイでタイの学生が放課後や休日も私たちと行動してくれたことに対し、私たちはタイの学生ほどタイの学生の日本での生活をサポートすることができなかった。個人の予定もあり、あまり休日や放課後の活動に参加できなかった。もう少し早めにチューター業務の予定表をもらえたらより有り難い。
2	タイの学生は英語がすごく上手で日本語もある程度話せる人が多かったので自分ももっとたくさんの言語を話せるようになりたいと思いました。今回のプログラムですごく東南アジアの文字に興味を持つことができました。
3	タイで使える携帯電話が支給されれば、万が一人が多いバンコクではぐれた際も安全だと思う。
4	タイの人の温かさに触れることができ、自分自身の人間性というものを改めて考えさせられました。また、タイ語という文化、タイの大学の体制、タイにおける尊敬の階層性、タイの上座部仏教、タイのルールやモラルなどを直に感じ、日本との違いはもちろん感じられたが、よりタイについて知りたいと感じられた。
5	タイでの暮らしは、知らない土地での暮らしだったため、行く前はとても不安だったが、 <u>マヒドン大学の学生が何から何までサポートしてくれたため、何不自由なく過ごせてすごく楽しかった</u> 。しかし、マヒドン大学の学生たちが日本にいるときにほとんど何もしてあげられなかったため、心底後悔している。マヒドン大学の学生たちは本当に親切で、日本での私の彼らへのもてなしと全く異なっており、かなり申し訳なくなった。もっと前から日本でのスケジュールを把握しておき、彼らのために予定を最大限あげてあげられたらよかった。また機会があれば、次はこのような後悔がないようにしたい。
6	このプログラムを通して、日本の学生の怠惰さを身に染みて感じた。海外の学生、特に東南アジアで大学に通える学生は、すべての人が大学に行けるわけではないということを理解した上で、大学に通うからにはとかなり勉強していると思った。タイの学生はほとんどアルバイトもせずに勉強していることが多いとマヒドン生から聞いた。日本ではほとんどの人が大学に通えるため、そのありがたさを理解せずに怠惰になりがちである。そのことを痛感した。マヒドン生は私たちのために朝から夜までずっとお世話をしてくれたが、彼らが日本に滞在している間に九大生がマヒドン生に対してあまりチューター業務をできなかったため、釣り合いが取れないと思った。 <u>チューター業務は希望制ではなく、プログラムの一環として全員参加にするべき</u> だと思う。また、希望制にするにしても、チューター業務のシフトの発表が遅すぎると思った。もっと早ければ、アルバイトのシフトやプライベートの予定など考慮することができ、多くの人がチューター業務に参加できたのではないと思う。学生のほとんどがアルバイトをしていて日程の調整はすぐにはつかなかったため、少なくとも2週間から1ヶ月前には知らせてほしかった。また、マヒドン生と九大生を班分けしないことについて、メリットとしては、班分けしない分、班のメンバーに縛られたりすることなく自由に人と付き合うことができた点がある。デメリットとしては、もし班分けされていたら、九大生ともマヒドン生とも(班員に限られる可能性が高いが)もっと濃く仲良くなれて、班の連帯感や責任感から、自分勝手な行動をするような人はいなかったのではないと思う。
7	タイにいて感じたのは、九大の待遇(ウェルカム・ファアウェルパーティーでの食事の内容など)が僕らがタイで受けたもの比べてかなり差があるように感じて、申し訳なくおもっていたことです。とはいえ、非常に充実した、かけがえのないプログラムでした。タイという国がこんなに素晴らしいことをしなかったのかを思い知らされ、タイの仲間たちの粘り強いホスピタリティーに突き動かされました。ありがとうございました。
8	・連絡が遅いこと このプログラム全体を通して感じました。事前研修やオリエンテーションは場所がまだ決まっていなくても少なくとも2週間前には日にちだけでも告知していただきたいです。また、タイの学生のチューター日程は、昨年度の例を載せておいてもらうと日程調整がしやすくなるのではないかと思います。(8月前半にたくさん入ると思わず、泊まり込みのアルバイトを入れたので参加できなかったため) また、タイではタイの学生に頼りきってしまったのが非常に心残りです。次の教室がどこなのかなど日本人学生が誰も知らず、タイの学生が知っているという状況が多くありました。
9	<u>スケジュールがハード</u> だったように思う。体調を崩す人がかなりいたので、もう少し、緩やかな方が良かった。ただ、そのおかげで、2週間の間に多くのことを経験できた。非常に濃い経験になったと感じる。

10	マヒドン大学が手厚く歓迎してくださり、多くの補助をしてくださったおかげで楽しむことができたのだと思う。逆にマヒドン大学の学生が箱崎キャンパスにきてくれたとき、マヒドン大学が私たちにしてくれたことと同じくらいの待遇を、九州大学ができていたのか心配になった。私自身、院試があったとは言え、チューター業務にあまり参加できなかったことを現地で反省した。今回、マヒドン大学の学生たちととても仲良くなることができたため彼らがもし 日本に再び来ることがあれば是非力になりたい と考えた。
11	本プログラムに参加して、日本では経験できないことをたくさん経験することが出来て本当に良かった。特にマヒドン生との密な交流は本当に貴重な体験だと思う。英語が得意ではない自分にとっては、マヒドン生とずっと話したかったし、 今後英語力を向上させようという思いにもなった 。改善内容としては、プレゼンテーションの詳細や明日の予定詳細などの連絡事項が回ってくるのがもう少し早ければ良いと思った。
12	マヒドン大生が日本に来ると、マヒドン大生は、タイ語はもちろん英語も話すことができ、中には、日本語を話すことができる人もいました。一方 日本人は、タイ語どころか英語も話すことができず、改めて情けなく感じました 。ところが、私たちがタイを訪れると、全員が英語を話すことができるというわけではなく、物売りの人の中にはタイ語しか通じない人も多くいました。なので、日本人は英語が話せないと決めつけるのではなく、自分もマヒドン大生のように英語を話すことができるようになろうと感じました。
13	マヒドン生が日本で滞在する寮がキャンパスから遠すぎると思います。彼らの登校の手間や課外交流の際の利便性を考慮すると、もっとキャンパスに近い寮を用意できればよいと思います。また、マヒドン生に対して、九大生のチューター業務に対する意識が低いと感じました。以前は九大生が先にタイへ行き、その後マヒドン生が日本に来るという順序だった時期もあったと聞きましたが、その方が少しは意識が向上するのではないかと思います。さらに、 マヒドン大学で私たちが受けた歓待に対して、九大でのウェルカムパーティーはささやか過ぎる とも感じました。全体として、マヒドン大学との交流プログラムはとても有意義で充実した素晴らしいものでした。このプログラムが今後も長く続き、両大学の学生が親交を暖めていくことを強く願います。
14	食事や飲み物についてのアドバイスがあればより良い。
15	タイの学生は本当に優しく、親身になってお世話をしてくれたのもっと日本でチューターに参加するべきだったといつも後悔してしまった。来年からは日本にタイの学生がいる間、 もっと積極的に関わられるようイントロダクションがあっても良い と思った。